

## 里山倶楽部自然農場日記1月号 NO72

あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

今年の冬野菜いつになくうまくいきました。理由は種をまいて芽が出た初期に害虫による食害が少なかったためです。

ところがただ一つ失敗作があります。またまた白菜です。

種をまいて苗を作り定植まではいつになく順調だったのです。定植後一ヶ月が過ぎそろそろ結球が始まる頃になって、葉がどんどん黄色くなっていくではありませんか。よく見ると「アブラムシ」がびっしりついているのです。もちろん農薬はまきません。そのまま放置していたらその白菜はアブラムシに養分を吸い取られて黄色く朽ちていくのです。さらに悪いことに当該白菜だけで事がすめばいいのですが、どんどんほかの白菜にも広がって枯れていくのです。

自然農法ではアブラムシ対策として牛乳を散布する方法が有名です。でも必ず効果が保障されるわけではなく、また700本もの白菜に牛乳を散布することもできません。また時間的余裕もありません。というわけで指をくわえてじっとみているしかありませんでした。

そういえば以前これとまったく同じことがありました。三重県の農場でスイカの苗を定植したのですがアブラムシにとりつかれ、今回と同じように順番に黄色くなって消えていきました。結局100本すべてが消えてなくなりました。それをじっと指をくわえて見ていなければならない辛い気持ち・・・いまでも忘れることができません。今回もまた同じことが再現されてしまいました。

人は言います。「自分の子供が病気になったら医者連れて行って薬を飲ませるやろ？。それと同じことなのになんで農薬をまかへんのや。理解でけへんは！」

もう一つの辛い言葉。「鈴木さんならめちゃんな農薬散布はしないだろうから、やむを得ない場合は農薬も使ってでも白菜を提供してください。白菜が虫にやられて白菜がないでは困るのです。冬は白菜がどうしても必要なので、結局スーパーで買ってしまうことになる。」

どんなことがあっても言われても、有機農業を貫くには固い固い信念が必要です。いろんな誘惑があります。その誘惑に打ち勝つ強い志を持つ人。それを世間では「変人」といいます。

### お客様の声

いつもありがとうございます。冬野菜うれしいです。特大のしいたけ、お鍋でいただきました。焼きしいたけもです。レンコンも家族全員大好きです。

(Sさま)

冬野菜がおいしいのでうれしいです。ポトフやおでんにしています。

(H さま)

いつもありがとうございます。レンコン煮たらホクホクでとてもおいしかったです。イノシシめ・・・とくやしく思いました。子供の離乳食に、里山の野菜大活躍！大根、かぶ、にんじんをあげました。おいしくて安全安心な野菜、大変助かっています。

(E さま)

いつもありがとうございます。ニラをマヨネーズで炒めて食べました。おいしかったです。

(K さま)

今年も素敵なクリスマスプレゼントありがとうございます。松竹梅&本物の羊毛のアイデア素晴らしいです。子供も喜んでます。

(H さま)

#### たまちゃんのつぶやき

緑の色が少しくすんだ感じの冬の色です。そんな中、ところどころあざやかなオレンジ色のからすうりがポッとあかりがともったようにゆら〜りとぶらさがっています。でもからすはからすうりよりも畑でいたずらするのが好きなので困ったものです。せっかく芽がでたエンドウをつついたり、大根をつついたり…イノシシはくるわ、あらいぐまはいるわ・・・知恵くらべです。

(11月27日)